

前略 ■教式のHPでは**教材研究のページ**を作成しています。私案ですが、「研究授業が当たった、教材研究をしないとイケない、ホームページで検索しよう」という人のためのページです。参照いただき、ご指導いただけるとありがたいです。また、指導案を送っていただきましたら、掲載したいとも思います。

●先の修養会で壇を頂きました「**木かげにごろり**」は、何年か前に春から準備をして秋に研究授業をした教材です。春から準備したのは、本文中に何度か出てくる「木かげがのびる」です。夏から秋にかけて日中の太陽高度が下がります。太陽高度が下がると影が伸びます。今回壇を頂き本文を再度読み返すとお百姓が「ごろり」とやるのはいずれも夕方であることに気づきました。夕方なら太陽が西の山に沈みかけていますので、影の長さは季節によらずいつも同じです。ということで、影の**長さ**が変わったのではなく、季節によって**太陽の沈む位置**が変わり、影の方向が変わったということです。それを教材は「のびて」と表

現し、とうとうごちそうの上まで伸びたと表現している…と、気づ

オオマムシグサ

花期:5月下旬～6月下旬。山中の樹陰や草原に生える多年草。花の仏焰苞(ぶつえんほう)は緑色、白い条が入り、下部は筒状にまく。果実は秋に赤熟する。6月29日撮影。花が



笑ってる様に見えるのは私だけでしょうか。

づきました。その辺のことを教材研究のページに図付きで詳しく書いています。

2014.9.22 教式短信 4